

平成23年度テニユアトラック普及・定着事業

「個人選抜型」

推薦書類様式

機関名：xx大学

推薦者数：xx名

(様式1)

機関名： XXX大学

被推薦者名簿

被推薦者 氏名	所属	職名 (テニュアトラック教員任期中)	職名 (テニュアポスト移行後)	研究分 野番号 (注)	テニュアトラック教員 採用・着任年月日(予定)
〇〇 〇〇	A学部B学科	テニュアトラック准教授 ※大学独自の呼称があれば記載 してください。			平成 年 月 日採用(予定) 平成 年 月 日着任(予定)

(注) 科学研究費補助金の細目コードを記載してください。

※イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。記入欄が不足した場合は、適宜追加してください。

(様式2)

被推薦者の経歴

(ローマ字) (フリガナ) 氏名		性別	
国籍		研究分野番号(注)	
生年月日	年 月 日生 (平成23年4月1日現在 歳)		
所属(予定)	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻(予定)		
テニユアトラック 教員採用・着 任年月日(予定)	平成 年 月 日採用(予定) 平成 年 月 日着任(予定)	テニユアトラ ック教員の職 名	
学歴 (大学入学以降)	1. 平成 年 月 大学 学部 学科卒業 2. 平成 年 月 大学大学院 修士課程修了 3. 平成 年 月 大学大学院 博士課程修了		
学位(取得年月 日及び大学等)	平成 年 月 日 博士(〇〇) 〇〇大学大学院〇〇研究科		
研究・ 職歴等	1. 平成 年 月 ~ 平成 年 月 〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇研究員		
所属学協会 と活動			

(注) 科学研究費補助金の細目コードを記載してください。

※ イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。

(様式3)

推薦理由書 (機関の長)

被推薦者名 : _____

※被推薦者ごとに1部作成ください。

被推薦者の研究内容、研究業績や将来性に対する評価を含んだ推薦理由書を機関の長が記載ください。

【A4判3頁以内】

必要に応じて関連文献を引用し、平易かつ具体的に記述してください。

1. 研究業績

(研究分野の国内外における位置付けおよび当該分野における研究業績の位置付け)

2. 今後の研究内容

(研究分野の国内外における位置付け(1.の該当部分と重複する場合はその旨を記載し省略してください。)、当該分野における今後の研究内容の位置付け、緊急性、および将来性と見通し。)

3. 機関が被推薦者に期待する研究リーダーとしての将来像

4. 推薦理由 (1.～3.を踏まえて簡潔に記述してください。)

5. 所属する部局等における育成方針とその方策

(申請機関名 : ○○○)

(様式5)

研究業績

被推薦者名 : _____

※被推薦者ごとに1部作成ください。※被推薦者自身が記載してください。

被推薦者のこれまでの研究内容と業績について、業績リストから代表的なものについてリスト番号を適宜引用し、簡潔に記述してください。必要に応じて図表を用いても構いませんが、審査は白黒コピーにより行うのでそれに耐えられるものを使用してください。(テニュアトラック教員として採用された時の提出書類を本様式として添附することは可能ですが、下記の頁数を超す場合は必要に応じて要約してください)。

【A4判3頁以内(業績リストは別紙とし左記頁数には含めない)】

(申請機関名 : ○○○)

【別紙：業績リスト】

<記載内容について>

各事項について年代の新しい順から通し番号をつけて全件記載。

(各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可)

- 1) ・原著論文 (著者 (被推薦者にアンダーライン)、題、掲載誌、巻、年、頁 (始—終) あるいは論文番号 (頁数) 外部引用数)、査読の有無 (査読中、投稿中は除く))
(著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略しても可 (省略する場合、その員数と、記載されている順番を○番目と記入) なお、被推薦者には下線を付すこと)
- ・著書 (著者 (被推薦者にアンダーライン)、題、出版社、年、頁 (始—終)、
- 2) 知的財産権取得状況：特許 (含む申請中) 等
- 3) 受賞等
- 4) 外部資金獲得状況－1 (科学研究費補助金 (代表者に限る)) *
- 5) 外部資金獲得状況－2 (科学研究費補助金以外 (代表者に限る)) *
(* 外国からの応募者等この分類に該当しない場合は、外部資金獲得状況としその全件 (代表者に限る))
- 6) 特記事項 (該当する場合)
教育実績などがあれば記載してください。

(様式6-1)

所要経費の見込額 (機関全体)

1. 機関全体における補助金見込額

※機関本部にて作成してください。

※被推薦者が複数名いる場合はその合計額を記載してください。

(様式6-2が複数枚ある場合は、その合計となります。)

(円)

年 度	23年度 (1年度目)	24年度 (2年度目)	25年度 (3年度目)	26年度 (4年度目)	27年度 (5年度目)	合計金額
補助金額						
設備備品費						
人件費						
事業実施費						

(申請機関名: ○○○)

(様式6-2)

所要経費の見込額 (テニュアトラック教員)

被推薦者名: _____

※被推薦者が複数名いる場合は、1人につき、1部作成してください。

※テニュアトラック教員と調整して、機関本部にてとりまとめの上記載してください。

1. 補助金額 (全体計画)

(円)

年 度	23年度 (1年度目)	24年度 (2年度目)	25年度 (3年度目)	26年度 (4年度目)	27年度 (5年度目)	合計金額
補助金額						
設備備品費						
人件費						
事業実施費						

2. 平成23年度所要額の内訳

個人選抜テニュアトラック教員に係る研究費及び人件費

経費の内容	金額 (円)	積算内訳 (円) ※記入例
設備備品費		記入例 〇〇システム一式 〇円 〇〇分析装置 〇円
人件費		記入例 ・テニュアトラック教員 (本人) の人件費 〇円×〇月=〇円 ・非常勤職員人件費 〇人×〇円×〇月=〇円
事業実施費 (消耗品費) (国内旅費) (外国旅費) (外国人招へい 旅費) (諸謝金) (会議費) (通信運搬費) (印刷製本費) (借損料) (雑役務費) (光熱水費)		記入例 〈消耗品〉 消耗品一式 〇円 〈国内旅費〉 〇〇学会 〇人×〇円 (〇〇県) =〇円 〈外国旅費〉 〇〇国際学会 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈外国人等招へい旅費〉 共同研究打ち合わせ 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈諸謝金〉 RA経費 〇人×〇円=〇円 〈会議費〉 研究打ち合わせ 飲食物等 〇人×〇円=〇円 会議で供給する飲食物等は、各機関の規程等に従い必要最低限のものとする。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。 〈通信運搬費〉 宅配便代 〇円×〇件=〇円 〈印刷製本費〉 論文別刷 〇円×〇部=〇円 〈借損料〉 コンピューター借料 〇円×〇台=〇円 〈雑役務費〉 〇〇データ分析委託一式 〇円 〈光熱水費〉 電気料金 〇ヶ月×〇円=〇円
合計金額		

※ イタリックは印刷不要です。申請時には削除してください。

(申請機関名: 〇〇〇)